

MACF 礼拝説教要旨

2023年9月17日

ルカによる福音書 22 章

[主の晩餐]

14 時刻になったので、イエスは食事の席に着かれたが、使徒たちも一緒だった。

15 イエスは言われた。「苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた。

16 言うておくが、神の国で過越が成し遂げられるまで、わたしは決してこの過越の食事をとることはない。」

17 そして、イエスは杯を取り上げ、感謝の祈りを唱えてから言われた。

「これを取り、互いに回して飲みなさい。

18 言うておくが、神の国が来るまで、わたしは今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」

19 それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」

20 食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。

21 しかし、見よ、わたしを裏切る者が、わたしと一緒に手を食卓に置いている。

22 人の子は、定められたとおり去って行く。だが、人の子を裏切るその者は不幸だ。」

23 そこで使徒たちは、自分たちのうち、いったいだれが、そんなことをしようとしているのかと互いに議論をし始めた。

\*\*\*\*\*

有名な「最後の晩餐」の場面です。

そして聖餐式の原型でもあります。

この食事は「過越の食事」と呼ばれ、ユダヤにおいてはとても大切な食事として今でも厳格にこの食事の形式が残されています。

そしてこの「過越の食事」は過越の祭りにおける食事であり、過越の祭りとはイスラエルの歴史の中で最も重要な「民族が隷属状態にあったエジプトからの脱出」の際の神とファラオのやり取りの最終的な切り札になった出来事を記念しているお祭りです。

その内容は出エジプト記 12 章に書かれています。

21 モーセは、イスラエルの長老をすべて呼び寄せ、彼らに命じた。

「さあ、家族ごとに羊を取り、過越の犠牲を屠りなさい。

22 そして、一束のヒソプを取り、鉢の中の血に浸し、鴨居と入り口の二本の柱に鉢の中の血を塗りなさい。翌朝までだれも家の入り口から出てはならない。

23 主がエジプト人を撃つために巡るとき、鴨居と二本の柱に塗られた血を御覧になって、その入り口を過ぎ越される。滅ぼす者が家に入って、あなたたちを撃つことがないためである。

24 あなたたちはこのことを、あなたと子孫のための定めとして、永遠に守らねばならない。

25 また、主が約束されたとおりにあなたたちに与えられる土地に入ったとき、この儀式を守らねばならない。

26 また、あなたたちの子供が、『この儀式にはどういう意味があるのですか』と尋ねるときは、

27 こう答えなさい。『これが主の過越の犠牲である。主がエジプト人を撃たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越し、我々の家を救われたのである』と。」

民はひれ伏して礼拝した。

28 それから、イスラエルの人々は帰って行き、主がモーセとアロンに命じられたとおりに行った。

#### [過越の食事]

過越の祭り（ペサハ）は、第一目の夜、「セーデル」と呼ばれる晩餐から始まります。

「セーデル」とは、「エジプトを脱出し、奴隷から解放され、イスラエルへたどり着くまでの期間を忘れないようにする、それぞれ意味のこもった食べ物を決まった順番で食する」儀式です。

「セーデル」の3アイテムと、式次第

3つの重要なアイテムは、セーデルプレート、マッツアー（種無しパン）、ワインです。

「セーデルプレート」6つの意味のある食材（出エジプトを象徴するもの）

春の到来と犠牲・生贄の象徴ペイツアー（ゆで卵）

エジプト脱出の象徴ゼロア（ローストラム）

奴隷だったときの苦しみの象徴マロール（苦味の西洋わさび）

奴隷のときに作らされたレンガの象徴ハロセット（りんご、ナッツ、シナモンのサラダ）

春の新鮮さ、高潔を象徴するカルパス（パセリ）

もう一度苦しみの象徴ハゼレット（レタスなどの葉野菜）

#### [過越の食事の式次第]

セーデルの晩餐を祝うためにロウソクに点火し、1杯目のワインを注ぎます。

晩餐を祝うために、石けんを使わずに手を洗います。

カルパス（パセリ）に塩水をつけて食べ、砕いてある3枚のパンの真ん中の1枚を大人が隠して、後ほど子供が探します。

2杯目のワインを注いで、ユダヤ教徒の指導者が出エジプトについて語り、最年少のお客がいくつかの質問をします。

そして、お祈りを謡（うた）いながら手を洗い、食事を始める前にマッツアーを食べるためのお祈りをします。

その後、マロール（苦味の西洋わさび）を食べ、マッツアーの粉と魚のすり身団子の伝統的スープを飲みます。

晩餐の最後に子どもたちが隠されたマッツアーを探し、食後のお祈りを済ませたら3杯目のワインをの

み、子どもたちが家の扉、門を開けます。

最後に4杯目のワインを飲んで、お祈りを語りながら終わります。

4杯のワイン

セーデルでは4杯のワイン（子どもはぶどうジュース）を飲みます。

これは神がイスラエルの民をエジプトから解放すると告げた時に語られた、

以下の「4つの約束」を覚えるためのものです。

1 エジプトの労役から導き出す

2 奴隷の務から解放する

3 大いなるさばきをもってあなたがたを贖（あがな）う

4 あなたがたをわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる

\* 主の晩餐

イエス様はこれらの「過越の食事」を弟子たちと共にすることを心待ちにしていました。

15 イエスは言われた。「苦しみを受ける前に、あなたがたと共にこの過越の食事をしたいと、わたしは切に願っていた。

これからイエス様ご自身によってもたらされる「解放と救い」を明確に教え、分かち合うためであり、「過越の食事」を超えた「新しい形の祝祭」としての食事の場にしたからです。

それは、この食事における「パンとワイン」の位置付けをイエス様ご自身に結びつけて教えておられることからわかります。

19 それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」

20 食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。

過越の祭りは何千年も前の出来事を思い起こし、神に感謝する国家的なお祭りでした。

それは各家庭で守られてきました。

しかし、ここでイエス様は、それを集約するような「イエス様ご自身の贖いによる過越し」つまり、イエス様が十字架の上で流される血潮の意義と、過越の際に屠られた羊そのものになって死なれる身体としてのパンを結びつけたのです。

イエス様は私たちが愛し、私たちが赦すためにこそ「その昔、家の門柱に塗られるために屠られた子羊とその血、そのもの」の役割を果たしてくださったのです。

ここに愛があるのだと聖書は教えています。

ヨハネはこう書きました。心に留めておきたい言葉です。

#### ヨハネの手紙第一 4 章

7 愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。

8 愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。

9 神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。

10 わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

11 愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

12 いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちが互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内ですべてされているのです。

13 神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださいました。このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分かります。

祝福がありますように。

\* \*

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/lwpuEszw8>

+++++

主の平和と祝福がありますように！

関根一夫

[pastor.kaz@gmail.com](mailto:pastor.kaz@gmail.com)

<https://www.macf.info/>

<https://www.youtube.com/c/kazsek0811/featured>